



# 勤労の獅子

いつでもそばで、ささえる！ つなぐ！ はたらく！

## 勤怠管理 システム

## 操作マニュアル（振休ペア機能）



## マニュアルの見方

### ●表記のルールについて

マニュアルの表記では、次のようなルールを使用しております。

表記ルール	意 味
→P.xxx	このマニュアル中で関連する情報が説明されているページを示しています。
{ }	{ } で囲んでいる文字は、画面名やウィンドウ名を示しています。 例 会社情報登録画面：{会社情報登録}
[ ]	[ ] で囲んでいる文字は、項目名やタブの名前を示しています。 例 社員コード：[社員コード]
< >	< > で囲んでいる文字は、ボタン名やリンク名を示しています。 例 登録ボタン：<登録>
[ ]	[ ] で囲んでいる文字は、項目の入力規則を示しています。※ 例 半角数字10桁：[半角数字10桁]
( )	( ) で囲んでいる内容は補足を示しています。

※入力規則の記載にかかわらず、全項目において以下の記号は入力することができません。

[!¥"# \$%&¥'()\*+,-/;:=?@^\_{}|}~]



## 目 次

---

### 1. 振休ペア機能概要

1－1 振休ペア機能概要	→	5 P
--------------	---	-----

### 2. 振休ペア機能利用方法

2－1 振休ペア機能設定方法	→	7 P
2－2 振休ペア機能利用方法	→	9 P



# 1. 振休ペア機能概要

振休ペア機能は振休の発生・消化時に振替日を入力することができる機能です。振休ペア機能を利用するにあたっての概要を説明します。

1 — 1 振休ペア機能概要

→ 5 P



## 1 - 1 振休ペア機能概要

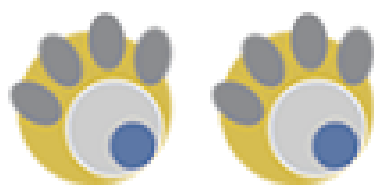
---

振休ペア機能は振休の発生・消化時に振替日を入力することで、発生と消化をペアで管理しやすくするための機能です。振替日を入力しておくことで、いつの出勤と休日を入れ替えたのかが、各修正画面、申請時、承認時に確認することが可能になります。

また、振替日を入力することで、振替日の日次データには『振替出勤（休日）予定日です。（yyyy年 mm 月 dd 日分）』などのメッセージが表示されるようになるため、振休発生（消化）事由の修正、申請忘れを防ぐことが可能になります。

### 《注意事項》

**振休ペア機能では、発生と消化のペアの組み合わせのエラーチェックは行いません。**



## 2. 振休ペア機能利用方法

振休ペア機能を利用するための設定方法・利用方法を説明します。

2—1	振休ペア機能設定方法	→	7 P
2—2	振休ペア機能利用方法	→	9 P



## 2 - 1 振休ペア機能設定方法

### 1. 振替日入力項目の作成

〔拡張項目設定〕にて、日次の「データ型：文字列」、「拡張項目区分：手入力」の拡張項目を作成します。振休の半休がある場合は、2項目作成します。

（〔拡張項目設定〕の操作方法については、別紙『操作マニュアル 設定』の3 - 3. 拡張項目設定をご参照ください。）

【計算式設定】

データ型：文字列  
システム項目名：ユーザ項目文字列0006  
拡張項目名：  
振替日1 必須

拡張項目区分

☐ 自動計算
 ☒ 手入力
 ☐ 事由数

☐ 勤務区分拡張
 ☐ 端末申請
 ☐ 予約項目

☐ 日次詳細
 ☐ 承認コメント

☐ 場所別集計
 ☐ 業務別集計

拡張項目	勤怠項目	拡張項目	勤怠項目
1	=	6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	

登録 削除

図 1. 振替日入力項目の設定例

### 2. 1.で作成した振替日入力項目で日付の入力を可能にする

〔勤怠項目設定〕にて、1.で作成した項目の「属性」を日付に変更します。

（〔拡張項目設定〕の操作方法については、別紙『操作マニュアル 設定』の3 - 1. 項目定義設定をご参照ください。）

### 3. 振休ペアメッセージを表示する項目を作成する

〔拡張項目設定〕にて、日次の「データ型：文字列」、「拡張項目区分：予約」の拡張項目を作成します。

（〔拡張項目設定〕の操作方法については、別紙『操作マニュアル 設定』の3 - 3. 拡張項目設定をご参照ください。）

#### 4. 振休ペアの設定を有効にする

〔休日付与規則〕の振休タブで以下のように設定を変更します。

「ペア取得チェック」：する

「振替日入力項目 1」：1.で作成した拡張項目を選択します。

「振替日入力項目 2」：1.で作成した拡張項目を選択します。（振休の半休がある場合）

「メッセージ表示項目」：3.で作成した拡張項目を選択します。

振休

年度開始月: 4 月

年度繰越: ☒ する ☐ しない

残数チェック: ☐ 重エラー ☒ 軽エラー

発生日数: ☐ 未使用 ☒ 使用  
項目名: 振休発生

取得日数: ☐ 未使用 ☒ 使用  
項目名: 振休消化

有効期間:取得日以前  
月度数 0 カ月度

有効期間:取得日以後  
月度数 3 カ月度

消滅数: ☐ 未使用 ☒ 使用  
項目名: 振休消滅

残数: ☐ 未使用 ☒ 使用  
項目名: 振休残数

ペア取得チェック: ☒ しない ☒ する

振替日入力項目 1: 振替日 1

振替日入力項目 2: 振替日 2

メッセージ表示項目: 振休ペアメッセージ

図 2. 振休ペアの設定例

#### 5. 1.～3.で作成した拡張項目を修正画面、申請画面に表示させる

〔修正画面項目設定〕にて 1.～3.で作成した拡張項目を修正画面で表示項目に設定します。

(〔拡張項目設定〕の操作方法については、別紙『操作マニュアル 設定』の 3-2. 修正画面出力項目設定をご参照ください。)





## 2-2 振休ペア機能利用方法

### 1. 〔個人別修正〕、〔日別修正〕、〔条件別修正〕、〔申請〕での利用方法

日次データの事由欄に事由処理が『振休発』、『振休取』、『半振休発生』、『前振休取得』、『後振休取得』を選択し、振替日入力欄に振替する日付を入力し、各修正画面の場合、「再計算」または「登録」をクリックします。〔申請〕の場合、「確認」をクリックします。

以下のように振休メッセージ欄に選択した事由と、入力した振替日に応じた、メッセージが表示されます。(振休メッセージの詳細は P.10～11 の振休メッセージの一覧を参照してください。)

日付	曜日	予定勤務略称	勤務コード	勤務区分略称	事由A	事由B
12/10	土	所定休	120	休日出動	振休発生	

振替日1	振替日2	振休ペアコード	振休ペアメッセージ
2017/01/05		005	振替休日予定日は2017/01/05です

図3. メッセージの表示例1

この時、振替先である2017年1月5日にも、日次計算されていれば以下の振休メッセージが表示されます。

日付	曜日	予定勤務略称	勤務コード	勤務区分略称	事由A	事由B	事由C
01/05	木		001	日勤			

振替日1	振替日2	振休ペアコード	振休ペアメッセージ
		001	振替休日予定日です。(2016/12/10分)

図4. メッセージの表示例2

また、事由処理が『振休発』、『振休取』、『半振休発生』、『前振休取得』、『後振休取得』の事由を選択している場合に振替日の入力に間違いがある場合、重エラーとなります。

振替日の重エラーについては P.12 の振替日入力における重エラー一覧を参照してください。

(〔個人別修正〕、〔日別修正〕、〔条件別修正〕の操作方法については、別紙『操作マニュアル 勤怠管理』の3. 勤怠データ管理をご参照ください。)

(〔申請〕の操作方法については、別紙『簡易操作マニュアルワークフロー個人編』のⅢ.個人申請をご参照ください。)

## 2. 〔モバイル申請〕での利用方法

モバイル申請についても、1. と同様に振休メッセージが表示されます。

(〔モバイル申請〕の操作方法については、別紙『操作マニュアル モバイル申請』の1－4. 勤怠申請をご参照ください。)

## 3. 振休メッセージ一覧 その1

メッセージコード	メッセージと表示条件
001	『振替休日予定日です。(yyyy/mm/dd 分)』 振休系事由(※1)の入力がなく、当日が振替出勤(半日含む)の振替休日(半日含む)となっている場合
002	『振替休日予定日です。(yyyy/mm/dd 分と yyyy/mm/dd 分)』 振休系事由(※1)の入力がなく、当日が半日振替出勤2回分の振替休日となっている場合
003	『振替出勤予定日です。(yyyy/mm/dd 分)』 振休系事由(※1)の入力がなく、当日が振替休日(半日含む)の振替出勤日(半日含む)となっている場合
004	『振替出勤予定日です。(yyyy/mm/dd 分と yyyy/mm/dd 分)』 振休系事由(※1)の入力がなく、当日が半日振替休日2回分の振替出勤日となっている場合
005	『振替休日予定日は yyyy/mm/dd です』 振休発生系事由(※2)の入力があり、振替日が1日分入力されている場合
006	『振替休日予定日は yyyy/mm/dd と yyyy/mm/dd です』 振休発生系事由(※2)の入力があり、振替日が2日分(半日2回分)入力されている場合
007	『振替出勤予定日は yyyy/mm/dd です』 振休取得系事由(※3)の入力があり、振替日が1日分入力されている場合
008	『振替出勤予定日は yyyy/mm/dd と yyyy/mm/dd です』 振休取得系事由(※3)の入力があり、振替日が2日分(半日2回分)入力されている場合

## 3. 振休メッセージ一覧 その2

メッセージコード	表示条件とメッセージ
009	『振出と振休が同時に予定されています (yyyy/mm/dd,yyyy/mm/dd) 』 振休系事由 (※ 1) の入力がなく、当日が振休発生系事由 (※ 2) と 振休取得系事由 (※ 3) の振替日となっている場合
010	『振替予定を確認してください (yyyy/mm/dd) 』 振休系事由 (※ 1) の入力がなく、当日が複数の振替日となっている場合 yyyy/mm/dd の部分は最大 3 日分、表示されます。

(※ 1) 振休系事由・・・事由の処理方法が『振休発』、『振休取』、『半振休発生』、『前振休取得』、『後振休取得』の事由。

(※ 2) 振休発生系事由・・・事由の処理方法が『振休発』、『半振休発生』の事由。

(※ 3) 振休取得系事由・・・事由の処理方法が『振休取』、『前振休取得』、『後振休取得』の事由。

## 4. 振替日入力時、発生する可能性のある重エラー一覧

重エラーコード	重エラー内容と発生条件
145	『振替日未入力』 振休ペア機能が ON かつ振休系事由（※ 1）の入力があるにもかかわらず 振替日の入力がない場合
146	『振替日入力過多』 振休ペア機能が ON かつ半日振休系事由（※ 2）の入力があるかつ 振替日が 2 回分になっている場合
147	『振替日 1 有効期間外』 振休ペア機能が ON かつ振休発生系事由（※ 3）の入力時、 振替日 1 に入力された振替日が有効期間外の場合
148	『振替日 2 有効期間外』 振休ペア機能が ON かつ振休発生系事由（※ 3）の入力時、 振替日 2 に入力された振替日が有効期間外の場合
149	『振替日 1・2 有効期間外』 振休ペア機能が ON かつ振休発生系事由（※ 3）の入力時、 振替日 1 と振替日 2 に入力された振替日が有効期間外の場合

（※ 1）振休系事由・・・事由の処理方法が『振休発』、『振休取』、『半振休発生』、『前振休取得』、『後振休取得』の事由。

（※ 2）半日振休系事由・・・事由の処理方法が『半振休発生』、『前振休取得』、『後振休取得』の事由。

（※ 3）振休発生系事由・・・事由の処理方法が『振休発』、『半振休発生』の事由。